

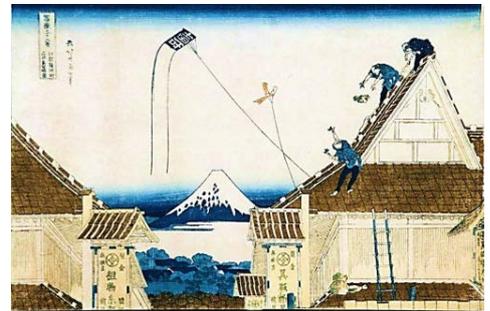
「はだの浮世絵ギャラリー」のオープンについて

本市では、平成10年に東田原出身の浮世絵収集家から浮世絵1,904点の寄贈を受け、江戸時代の生活文化や社会風俗を伝える伝統的な美術作品を紹介するため、これまで宮永岳彦記念美術館で、定期的に浮世絵展を開催しています。

さらに、多くの人々が貴重な美術作品に触れ合える機会を提供するため、図書館会議室を改修し、11月3日から「はだの浮世絵ギャラリー」として浮世絵を展示します。

1 オープンセレモニー

- (1) 日時 11月3日(金曜日) 午前9時半～
- (2) 場所 図書館2階はだの浮世絵ギャラリー
- (3) 出席者 市長、市議会議長、その他関係者等



葛飾北斎「富嶽三十六景」

2 観覧案内

- (1) 開室時間 午前9時～午後7時（11月3日は午前10時～）
- (2) 休室日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)
その他、展示替えや図書館資料整理のための休室日があります。
- (3) 入場料 無料

3 展示内容

浮世絵は、直射日光や高温多湿に弱いため、展示期間は1か月半程度とします。

オープニングを飾る第1回目は、所蔵作品のうちから、歌川広重や葛飾北斎の名所絵、歌川国芳や国貞などの美人画や役者絵といった珠玉の30点余りを12月28日(木)まで展示します。

4 その他

この事業の広報宣伝には、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の寄付金を活用しています。

また、東海大学課程資格教育センターの協力を得て、展示に関する助言を受けるほか、博物館学研究室の学生が実習の一環として展示作業に従事します。